

# H26. 3.9 付 日本農業新聞 全国社会面 掲載記事



## 寄 月展 来初の写真展

「卒業後は酪農ヘルパーになったが、腰を痛めて続けることができなくなった。気落ちしていた時、農業体験で知り合った友人が「馬の写真集はあるのうね」と言葉にヒントをもらい、「私が作る文化会館で4月11日から待つて」と即答。牛13日まで。

「は「ストレスに弱い牛に無理なく近づいて、一頭の個性をうまく引き出して撮ってくれる」と腕前を評価、写真を通して酪農ファンをたくさんつくってほしいと期待する。

写真展は同市の南大沢文化会館で4月11日から待つて」と即答。牛13日まで。

## 性グループ

販売会は、農業をしてきた女性たちでつくる「いいたてカーネーションの会」が主催した。開店直後から、商品を何枚も手に取り試着する女性でにぎわった。来店者からは「応援しています」「体に気を付けて頑張つてね」と販売員を励ます声も相次いだ。

「これ、すてきね」とまでい着を試着する女性客（8日、埼玉県所沢市で）

同店での販売会は2回目。好評のため今年は約1000点多い商品を用意した。特に人気だったのは3000円程度に価格を抑えたベストや丈の長いシャツ。ファッション性を追求しようと胸そこう・西武の女性デザイナーが指導し、民間の会

程改善を助  
販売員として村から9人の女性が参加。売りに上

## 流出海岸林を再生

宮城県 名取市 被災農家ら50万本計画

【宮城・名取市】東日本大震災の津波で海岸林が流失した名取市の沿岸に、被災農家が育てた苗木を再生させようというプロジェクトが進んでいる。今春にはクロマツの苗木を中心に約10万本を15日に植樹し、2020年までに100万本、50万本以上の苗木を植樹する計画だ。

## 福島産物の安全性PR

J A福島青年連盟と J A富山県青年協

【富山】県の東日本大震災復興支援イベント「食の安全・安心交流フェア」が8日、富山市のショッピングセンターで開かれ、J A福島青年連盟とJ A富山県青年組織協議会がスクラムを



産の特産品を買い求める多くの富山県民（8日、富山）

「は全て同会に入り、店側は会場を無償で提供した。同会の佐野ハツノ代表は「作っても作ってもからも続けられる取り組みを話した。」

「海岸の松林は、飛砂や飛塩、初夏に吹くやませから地域の暮らしや農業を守ってきた。多くの皆さんと協力し、地域の森を再生したい」と話す。

林などの再生を目指す。12年2月にはオイスカの呼び掛けに心え、被災農家を中心とした名取市海岸林再生の会が発足。雇用創出に向けて苗木生産から取り組もうと、発

## 十字路

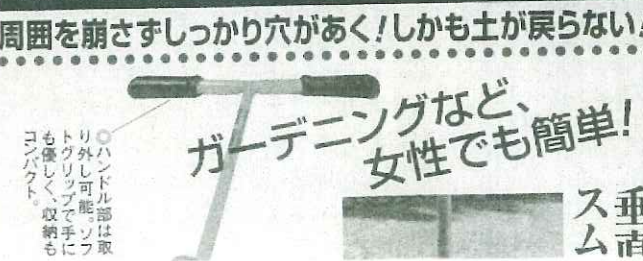
ラーメン、ギョーザの日本発祥の地とされる水戸市の飲食店が観光客を呼び込もうと、「黄門様」で知られる水戸藩主徳川光圀（1628〜1700）が食べたメニューを再現し、「水戸藩ラーメン」「光圀餃子（ぎょうざ）」などの「黄門メニュー」を



## ズミ追放!



## 軽く回すだけでラクラク穴掘り!



## 粗大ゴミ解体から日曜大工

